平成30年度動物愛護管理事業の実績及び評価

						<u>※基準値:H18年度実績</u>		
事 業 名	実施結果と評価							
	事業の目的 犬の飼い主にしつけの方法や飼養管理に関する知識等を習得させることにより、人と動物の 共生の推進を図る。							
	事業の概要	動物愛護センター(支所を含む)及び中核市保健所において、飼い犬の生理、習性、適正飼養等に関する学科講習及びデモ型、個別指導型等の実技講習を併せて開催し、人と動物の共生のために必要な知識及び技術の普及啓発を図った。						
					基準値	H30年度 実績		
	指標の設定	①活動指標:講習	'会開催回	汝	56回	42回		
	1日1宗07改足	②成果指標:受講者数			656名	416名		
飼い犬等の しつけ方教室	【事業の実施状況】 動物愛護センター(支所を含む)及び中核市保健所において開催した飼い犬等のしつけ方教室及び猫の 飼い方講座の実績は、次のとおり。							
	同会津支所(同相双支所(福島市保健所 郡山市保健所	学科講習 5回、実技学科講習 4回、実技学科講習 4回、実技 実施なし (学科講習 3回、受所(学科講習 4回、	支講習 4 [支講習 4 [受講者数 実技講習	回、受講者 回、受講者 I 2 5 名、 4 回、受	数 33名) 猫の講習会:7回、11 講者数 128名)	6名)		
	事業の目的	無登録、未注射犬の一掃及び放置犬等の一掃を重点的に行い、安全で安心できる生活環境 の確保を図る。 						
	10月15日から11月14日までの期間に、集中的に動物の愛護及び適正飼養についての広報を 事業の概要 行うとともに、無登録・未注射犬及び放置犬の一掃並びに動物取扱業者への立ち入り指導を併 せて実施した。							
	指標の設定	①代表指標: 狂犬病予防注射実施率						
		②代表指標:	代表指標: 犬の捕獲頭数					
		③代表指標:	犬の苦情					
		基準値		年度 績	H30年度 中間目標	H35年度 最終目標		
	①代表指標	75%	76.2%		100%	100%		
	②代表指標	2,229頭	569	頭	850頭以下	450頭以下		
	③代表指標	3,521件	1,223件		1,500件以下	950件以下		
動物愛護管理強化対策事業	【事業の実施状況】 動物愛護センター(支所を含む)及び中核市保健所において、捕獲抑留した犬の数及び犬に関する苦情対応の実績は次のとおり。 動物愛護センター(犬の捕獲頭数 196頭、犬の苦情件数 433件) 同会津支所(犬の捕獲頭数 61頭、犬の苦情件数 127件) 同相双支所(犬の捕獲頭数 43頭、犬の苦情件数 111件) 福島市保健所(犬の捕獲数 59頭、犬の苦情件数 116件) 郡山市保健所(犬の捕獲頭数 128頭、犬の苦情件数 212件) いわき市保健所(犬の捕獲頭数 82頭、犬の苦情件数 224件)							
		狂犬病予防 注射実施率	В		と達成していないが、基準値を上回っている。			
	中間評価	犬の捕獲頭数	Α	中間目標を達成している。 				
		 犬の苦情件数	A	中間目	標を達成している。			

事 業 名	実 施 結 果 と 評 価								
	事業の目的	的 動物愛護管理法に基づき、犬及び猫について飼養が困難となった者から引取りを行う。							
	事業の概要	動物の愛護及び管理に関する法律に基づく犬及び猫の引取り。							
	Ua 150 - 50 -t-	①代表指標:	犬の引取	 り数					
	指標の設定 	②代表指標:	猫の引取り数						
		基準値	H30年度 実績		H30年度 中間目標	H35年度 最終目標			
	①代表指標	944頭	181頭		400頭以下	200頭以下			
₽ ₽ 1¢₩	②代表指標	4,031匹	3,003匹		2,000匹以下	2,000匹以下			
犬及び猫の 引取り事業	【事業の実施状況】 動物愛護センター(同支所を含む)及び中核市保健所が飼い主等から引取った犬及び猫の数は、次のとおり。 動物愛護センター(犬の引取り数 103頭、猫の引取り数 1,072匹) 同会津支所(犬の引取り数 16頭、猫の引取り数 728匹) 同相双支所(犬の引取り数 17頭、猫の引取り数 243匹) 福島市保健所(犬の引取り数 7頭、猫の引取り数 450匹) 郡山市保健所(犬の引取り数 13頭、猫の引取り数 281匹) いわき市保健所(犬の引取り数 25頭、猫の引取り数 229匹)								
	J. 8857 /m	犬の引取り数	A 中間目標を達成している。						
	中間評価	猫の引取り数	В		中間目標を達成していないが、基準値 (平成18年度実績)を上回っている。				
	事業の目的	収容動物を希望者に譲渡し処分数を減少させる。							
	事業の概要 犬及び猫の譲渡要領に基づき適正に譲渡事業を推進した。								
		①活動指標: 犬の譲渡数							
	指標の設定	②活動指標: 猫の譲渡数							
		③代表指標: 犬の殺処分数							
		④代表指標:	猫の殺処						
		基準値		年度 績	H30年度 中間目標	H35年度 最終目標			
	①活動指標	179頭	281頭						
	②活動指標	17匹	538匹						
	③代表指標	2,589頭	119頭		600頭以下	120頭以下			
	④代表指標	4,014匹	2,467匹		2,000匹以下	1,600匹以下			
犬及び猫の譲渡事業	は、大大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・	ター(犬 165頭、 犬 22頭、猫 99 犬 28頭、猫 32 (犬 12頭、猫 4 (犬 22頭、猫 9 所(犬 32頭、猫	猫() () () () () () () () () () () () () (6匹) 保健所にお 中間目	施した新しい飼い主へのける犬及び猫の殺処分数 標を達成している。	は、次のとおり。			
		猫の殺処分数	В		標を達成していないが、基 8年度実績)を上回ってい				

事 業 名	実 施 結 果 と 評 価								
	事業の目的 地域における動物の愛護と適正飼養等を普及啓発する動物愛護推進ボランティアを養成し、 人と動物の共生の推進を図る。								
	事業の概要	事業の概要動物愛護推進ボランティアを養成するための基礎講習会を開催した。							
					基準値	H30年度 実績			
手上小小 双头 = #	指標の設定	①活動指標:講習会開催回数			3回	5回			
動物愛護 ボランティア	1日1宗07改足	②成果指標:受講			19名	19名			
養成講習会		【事業の実施状況】							
	動物愛護センター(支所を含む)の養成講習会の開催実績は、次のとおり。 動物愛護センター(3回、17名) 同会津支所(1回、1名) 同相双支所(1回、1名) ※中核市は当該事業がない。								
	事業の目的	事業の目的ボランティアとの連携を図るため、ボランティアの登録を推進する。							
	事業の概要	動物愛護推進ボランティア育成講習会受講者に対し、県で行う動物愛護推進事業及び行政との協働についての説明を行い登録者を募った。							
	指標の設定	①代表指標:			ア登録者数				
		基準値	H30年度 実績		H30年度 中間目標	H35年度 最終目標			
動物愛護	①代表指標	262名	363	<u>Z</u>	400名	500名			
登録	動物愛護センター(支所を含む)における新規登録者17名の内訳は、次のとおり。 動物愛護センター(15名) 同会津支所(1名) 同相双支所(1名) ※中核市は当該事業がない。								
	中間評価	動物愛護 ボランティア 登録者数	B 中間目標を達成していないが、基準値 (平成18年度実績)を上回っている。						
	事業の目的 児童期からの動物愛護教育の充実を図る。								
	事業の概要 動物愛護センター(支所を含む)の職員を小学校に派遣し、学校で飼育している動物の飼育相 談や実際に動物を活用した触れ合い体験学習等(座学及び触れ合い)を実施した。								
				基準値	H30年度 実績				
	指標の設定	(1)活動指標:実施回数			56回	54回			
小学校への 獣医師	加水少以及	②成果指標:受講者数			2,571名	2,245名			
派遣事業	【事業の実施状況】 動物愛護センター(支所を含む)が行った派遣事業の実績は、次のとおり。								
	動物愛護センター(延実施回数 32回、受講者数 1,396名) 同会津支所(延実施回数 12回、受講者数 493名) 同相双支所(延実施回数 3回、受講者数 82名) 福島市保健所(延実施回数 8回、受講者数 274名) ※郡山市及びいわき市は当該事業がない。								

事 業 名		実 施 結 果 と 評 価							
	事業の目的	動物取扱業者に対する監視指導を実施し、展示動物等の健康及び安全の保持並びに周辺の生活環境の保全を図る。							
	事業の概要	動物愛護管理対策強化期間を設け動物取扱業者に対する立入指導を実施した。							
		①活動指標:	監視率						
	指標の設定 	②代表指標:動物取扱業施設における違反件数							
		基準値	H30年度 実績		H30年度 中間目標	H35年度 最終目標			
	①活動指標	100%	50.3%		0件				
動物取扱業者	②代表指標 【事業の実施状況	0件	01	牛	0件				
に対する 監視指導	対象施設:第 立入施設:第 動物愛護支間 同相以東京 同相島市保 間間市保	「(対象施設数 62カ 「(対象施設数 40カ 聲所(対象施設 10 聲所(対象施設数 10	第二年 第二年 1 1 2 2 3 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6)施設 設、延監 視施設数 視施設数 監視施設数 延監視施該	視施設数 50施設、監視 60施設、監視率 96 20施設、監視率 50 数 42施設、監視率 4 設数 56施設、監視率 施設数 59施設、監視率	8%) 0%) 1.6%) 52.8%)			
	中間評価	動物取扱業施設 における違反件数	Α	中間目	標を達成している。				
	事業の目的	特定動物飼養者に対する監視指導を実施し、展示動物等の健康及び安全の保持並びに周囲の生活環境の保全を図る。							
	事業の概要	定期的な施設の立入検査を実施した。							
	比価の記中	①活動指標: 監視率							
	指標の設定	標の設定 ②代表指標 :		特定動物飼養施設における違反件数					
		基準値	H30年度 実績		H30年度 中間目標	H35年度 最終目標			
持定動物飼養者	①活動指標	100%	132.4%						
に対する	②代表指数	0件	01	0件					
監視指導	動物愛護セ 同会津支所 福島市保倒 郡山市保倒 いわき市保	- 訳 68施設、延監視施記 ンター(対象施設数 (対象施設数 3施記 所(対象施設数 2が 所(対象施設数 4が	54施設 54施設 54施設 54 54 54 54 54 54 54 54 54 54	、延監視抗施設数 3 視施設数 視施設数 視施設数 監視施設数	施設数 81施設、監視率 施設、監視率 100. 2施設、監視率 100. 4施設、監視率 100. 数 0施設、監視率 0%.	O %) - O %) - O %)			
	中間評価	特定動物飼養施設における違反件数	Α	中間目	中間目標を達成している。				
	事業の目的	動物取扱責任者を対象とした研修会を開催し、動物取扱業者全体の資質向上を図る。							
	事業の概要	動物取扱責任者を対象に動物愛護管理法や業務の実施に関する項目等についての研修会を実施した。							
						H30年度 実績			
	指標の設定	①活動指標:	開催回数		8回	9回			
動物取扱責任者 研修事業		②成果指標:	受講率		72%	95.0%			
	動物愛護セ 同会津支所 同相双支所 福島市保倒	- 【 【 5 5 5 施設、受講者 【 ンター(対象者数 「(対象者数 5 3 施詞 「(対象者数 3 5 施詞	1 3 9 施設 设、受講者 设、受講者 施設、受講	、受講者数 数 4 7 ½数 数 3 3 ½ 者数 8 2	数 133施設、受講率 施設、受講率 88.7% 施設、受講率 94.3% 施設、受講率 89.10	6) 6) %)			